

# 長野県こどもモニター 第1回「こども居場所づくり」 (小学5年生～高校3年生(もしくは同等年齢)の回答)

アンケートの結果は以下のとおりでした。  
モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

## I 概要

### (1) 調査の方法

1. 調査対象 県内の小学5年生～高校3年生(もしくは同等年齢)
2. 登録者数 小学生110人 中学生54人 高校生(もしくは同等年齢)124人 合計288人
3. 調査方法 ①郵送(Googleフォームで回答)  
②メール(Googleフォームで回答)

### (2) 調査時期

第1回アンケート「こども居場所づくり」  
2023年9月29日(金)～10月20日(金)

### (3) 第1回アンケート回収結果

#### 【回答者数】

小学5年生:24人 小学6年生:32人  
中学1年生:9人 中学2年生:6人 中学3年生:13人  
高校1年生(もしくは同等年齢):18人  
高校2年生(もしくは同等年齢):19人  
高校3年生(もしくは同等年齢):9人

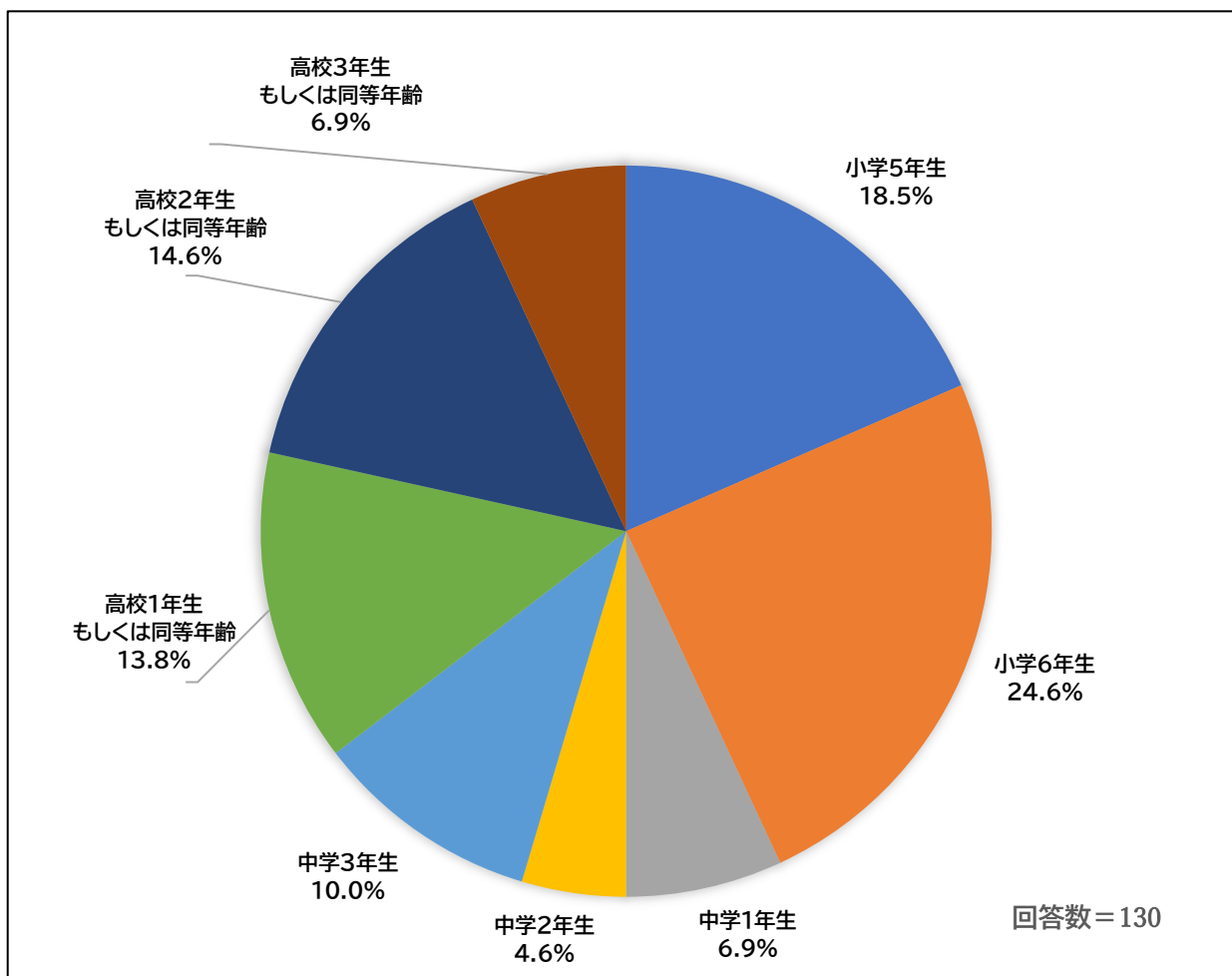
合計130人(回収率45.1%)

## II 回答結果(小学生・中学生・高校生(もしくは同等年齢))

問2. あなたの学年を選択してください

このアンケートの回答者は、下記のとおりである。

小学生	56人	43.1%
中学生	28人	21.5%
高校生	46人	35.3%



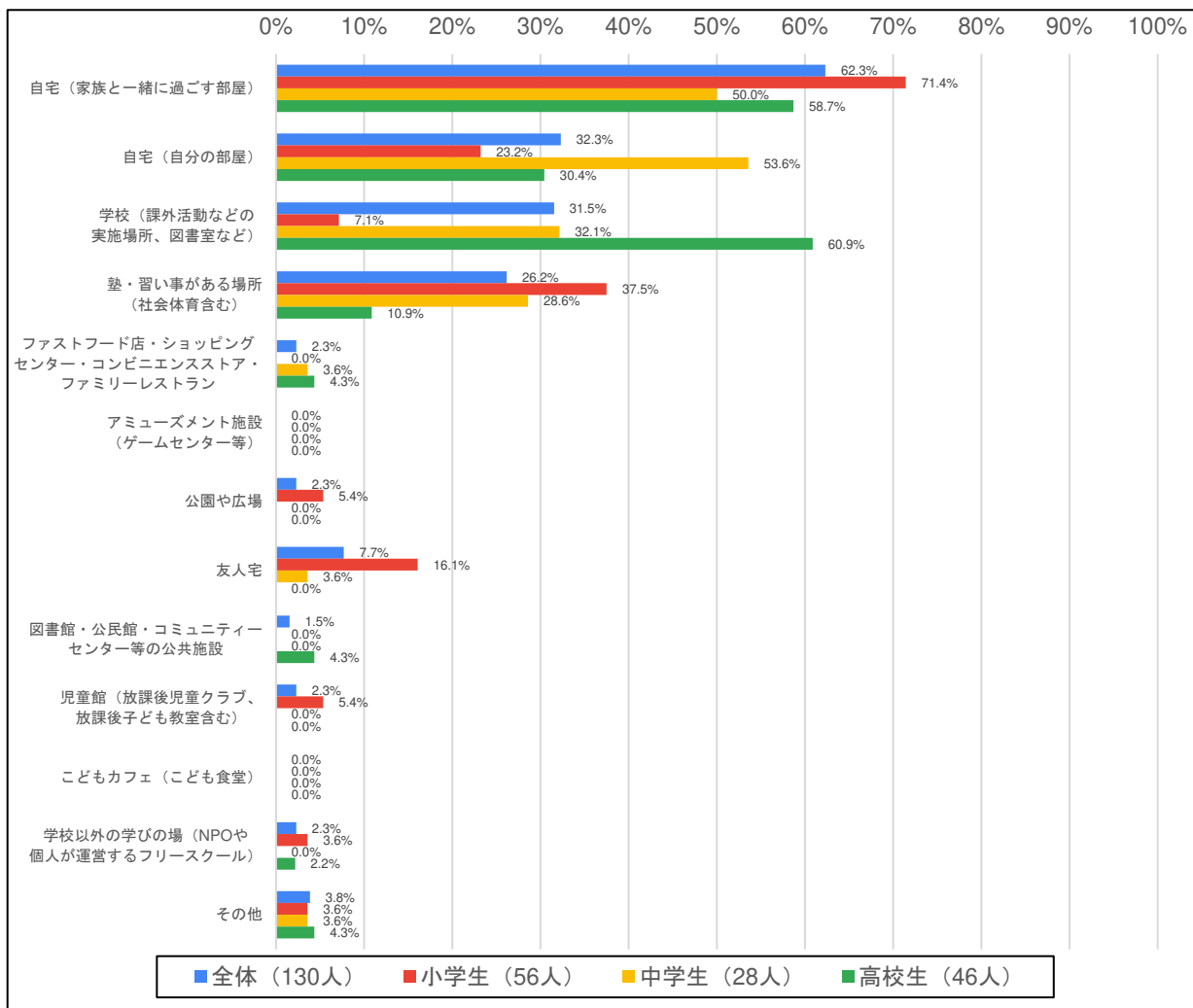
問 3. 平日の放課後はどこで過ごすことが多いですか？(2つまで回答)

平日の放課後の居場所は、それぞれの年代で1位が異なる結果となりました。

小学生の回答で圧倒的に多かったのは、「自宅(家族と一緒に過ごす部屋)」(71.4%)でした。次いで、「塾・習い事がある場所」(37.5%)、「自宅(自分の部屋)」(23.2%)が多い結果となりました。「友人宅」という回答も16.1%あり、他の年代と比較すると高い割合です。

中学生の回答でもっとも多かったのは、「自宅(自分の部屋)」(53.6%)、「自宅(家族と一緒に過ごす部屋)」(50%)でした。「学校」(32.1%)、「塾・習い事がある場所」(28.6%)の回答も比較的多かったです。

高校生においては、「学校」(60.9%)、「自宅(家族と一緒に過ごす部屋)」(58.7%)と2つの項目が高い割合を示しています。また、「自宅(自分の部屋)」という回答も30.4%と一定割合ありました。



【その他の記述内容】

小学生・・・家の周り,学童クラブ

高校生(もしくは同等年齢)・・・学生寮の自室

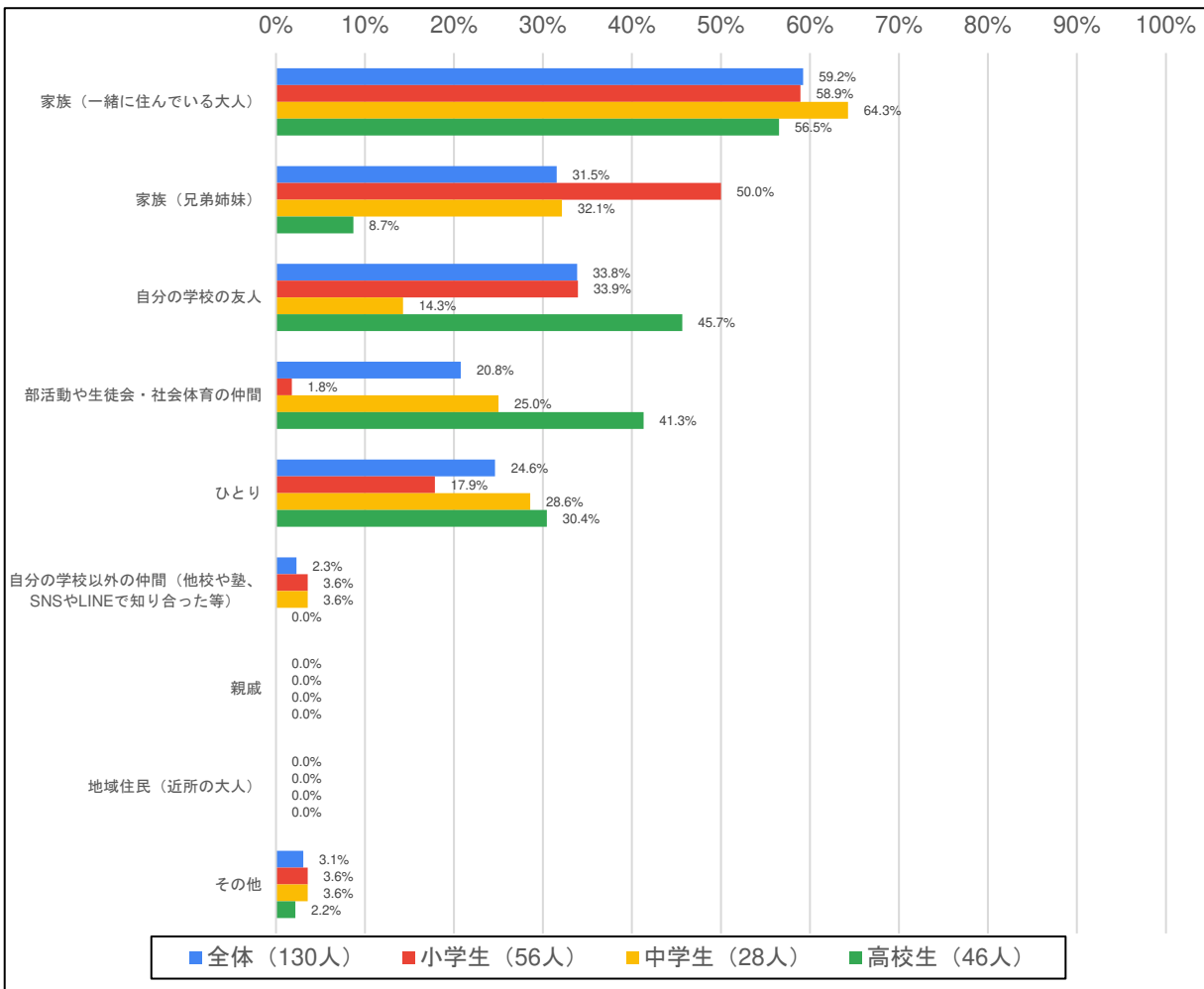
問4. 平日の放課後は、誰と過ごすことが多いですか？(2つまで回答)

全体では、「家族(一緒に住んでいる大人)」が 59.2%と最も高く、次いで、「自分の学校の友人」が 33.8%、「家族(兄弟姉妹)」が 31.5%となりました。

小学生では、「家族(一緒に住んでいる大人)」が 58.9%、「家族(兄弟姉妹)」が 50.0%と、平日の放課後は家族と過ごしている人が多いことが分かりました。

中学生で特徴的なのは、「自分の学校の友人」(14.3%)より「ひとり」(28.6%)という回答が多かったことです。ほかに、「部活動や生徒会・社会体育の仲間」という回答も 25.0%と高い割合を示しました。

高校生(もしくは同等年齢)では、「自分の学校の友人」が 45.7%、「部活動や生徒会・社会体育の仲間」が 41.3%と回答した割合が高く、「家族(兄弟姉妹)」と回答した人は年代比較的に少なくなっています。



【その他の記述内容】

小学生・・・近所に住む祖母宅

高校生(もしくは同等年齢)・・・いっしょに活動する仲間

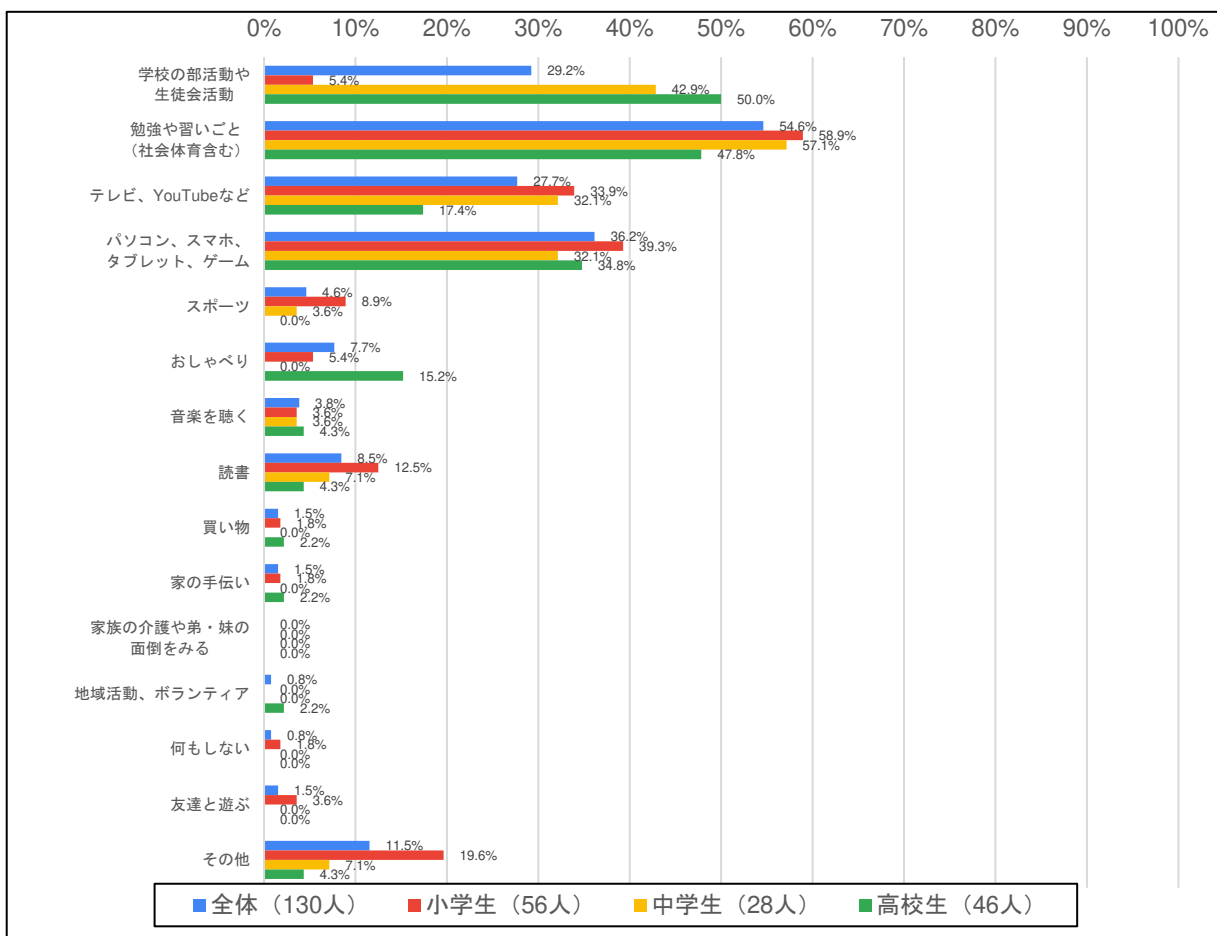
問5. 平日の放課後は、何をして過ごすことが多いですか？(2つまで回答)

全体では、「勉強や習いごと(社会体育含む)」が 54.6%と最も高く、次いで、「パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム」が 36.2%、「学校の部活動や生徒会活動」が 29.2%となりました。

小学生では、「勉強や習いごと(社会体育含む)」が 58.9%と最も高く、次いで「パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム」(39.3%)、「テレビ、YouTube など」(33.9%)という回答が多くなっています。

中学生では、「勉強や習いごと(社会体育含む)」が 57.1%と最も高く、次いで「学校の部活動や生徒会活動」(42.9%)、「テレビ、YouTube など」(32.1%)、「パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム」(32.1%)が続きます。また、「読書」している中学生が 12.5%いることも特徴といえます。

高校生の回答で多かったのは、「学校の部活動や生徒会活動」(50.0%)、「勉強や習いごと(社会体育含む)」(47.8%)、「パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム」(34.8%)ですが、年代比較的に「おしゃべり」が 15.2%と高いことが特徴です。



【その他の記述内容】

小学生・・・遊ぶ,学童で宿題したり遊ぶ,ランニング,友達と遊ぶ,宿題

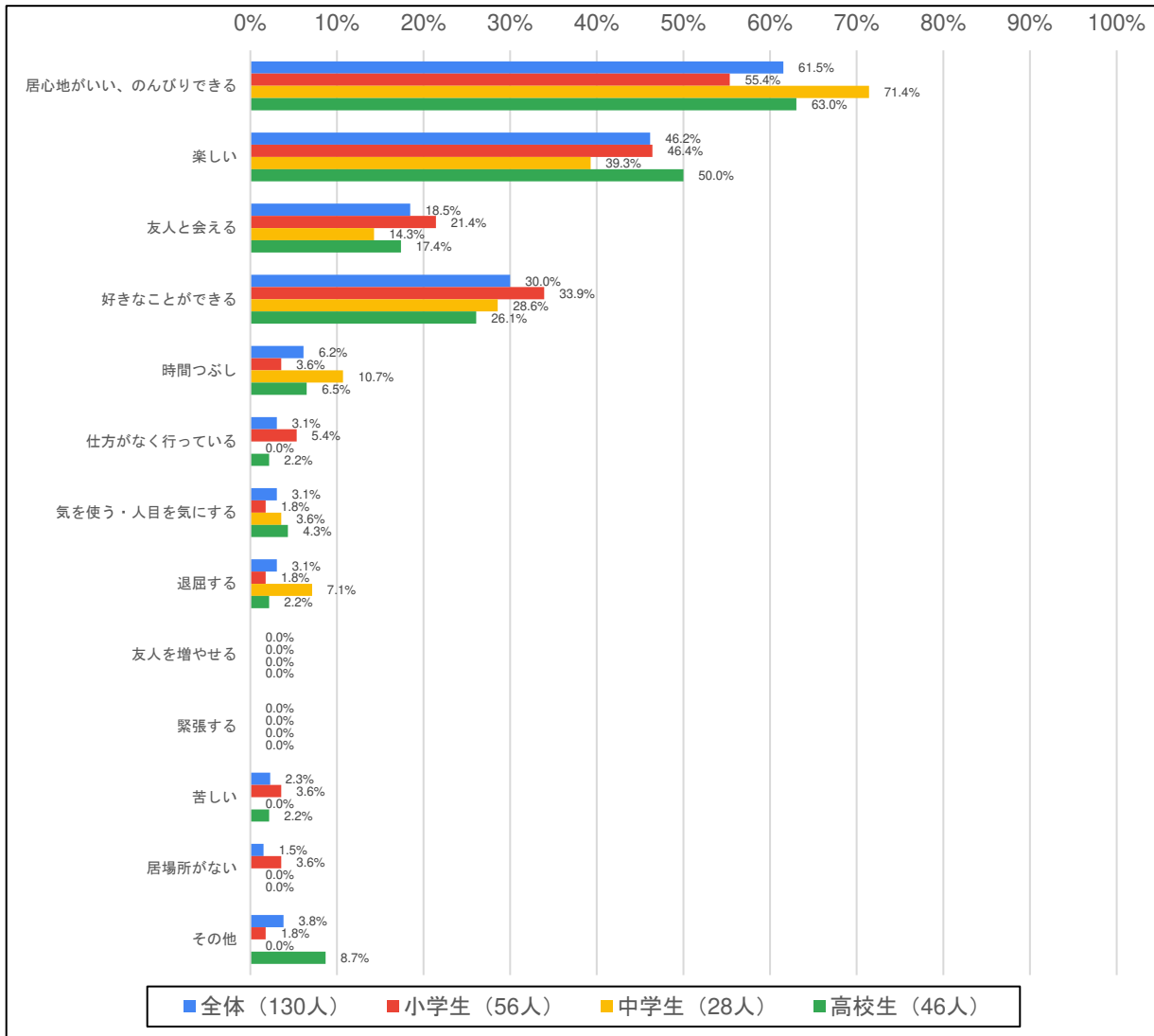
中学生・・・対人のボードゲーム,寝ている

高校生(もしくは同等年齢)・・・学校の課題,アルバイト,探究活動

問6. 「平日の放課後は、どこで過ごすことが多いですか？」で答えた場所にいる時、どんな風に感じていますか？(2つまで回答)

全体では、「居心地がいい、のんびりできる」が 61.5%と最も高く、次いで、「楽しい」(46.2%)、「好きなことができる」(30.0%)、「友人と会える」(18.5%)と多くの子どもが回答しています。

ポジティブな回答が多い中、中学生の中には、「時間つぶし」(10.7%)、「退屈する」(7.1%)というネガティブな感情で平日の放課後を過ごしているという回答も一定数見られました。



【その他の記述内容】

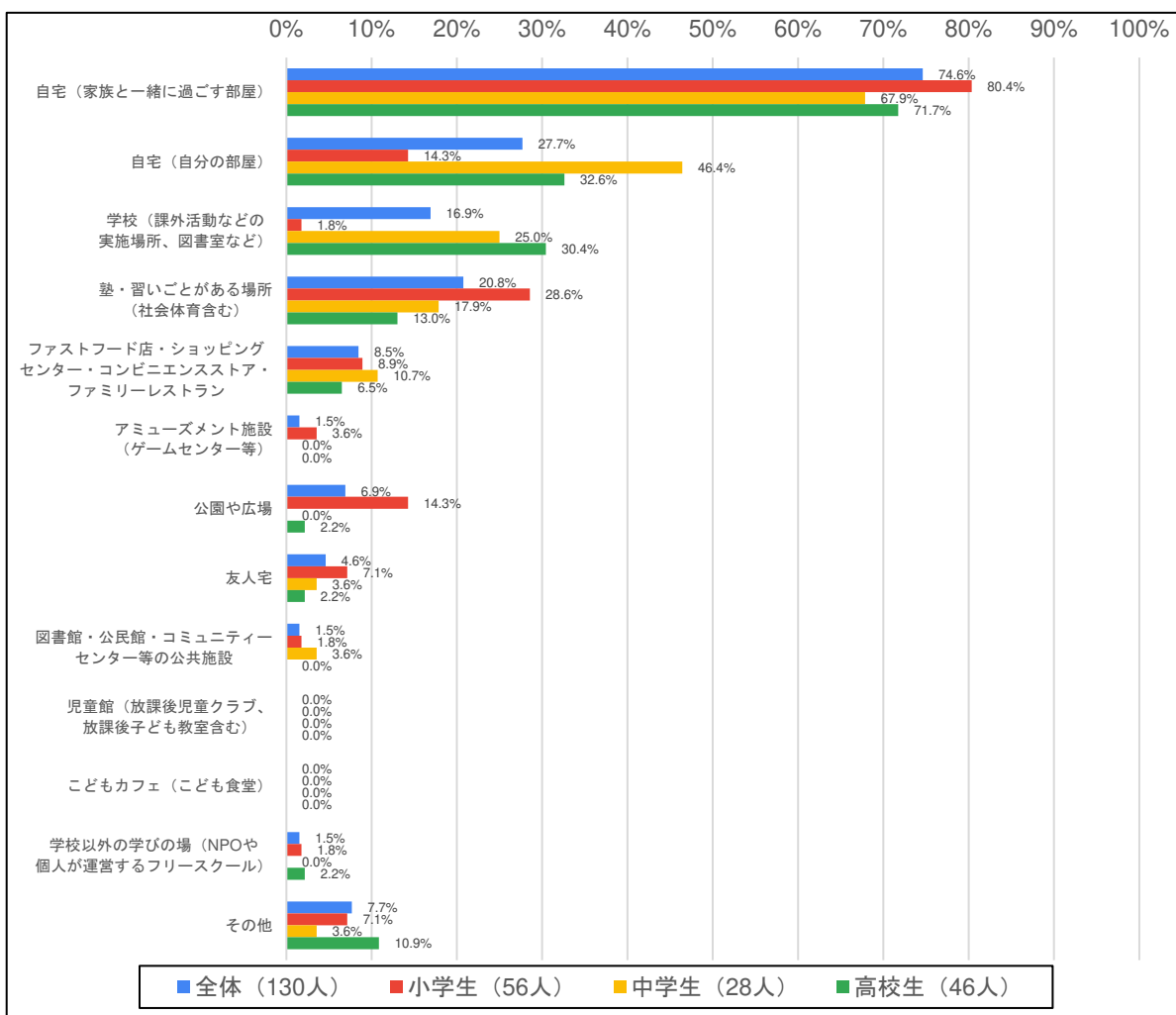
高校生(もしくは同等年齢)・・・何も考えずゲームをしている,勉強がはかどる,忙しい,どうして私は努力ができないのだろう

問7. 学校が休みの日(土曜日、日曜日、祝日)は、どこで過ごすことが多いですか？(2つまで回答)

全体では、「自宅(家族と一緒に過ごす部屋)」が最も高く、いずれの年代においても一位にあります。小学生では「自宅(家族と一緒に過ごす部屋)」が80.4%に次いで、「塾・習い事がある場所」が28.6%と、年代比較的にも高い傾向にあります。また、「自宅(自分の部屋)」、「公園や広場」という回答も同率の14.3%と一定の割合がいます。

中学生では「自宅(家族と一緒に過ごす部屋)」(67.9%)に次いで「自宅(自分の部屋)」と回答した人が46.4%と年代比較的にも高い傾向にあることがわかります。「学校(課外活動などの実施場所、図書室など)」と回答した人も25.0%います。

高校生(もしくは同等年齢)では自宅以外の回答として、「学校(課外活動などの実施場所、図書室など)」が30.4%と高い割合にありました。



【その他の記述内容】

小学生…様々なところ(日によって様々),外(家の周り),おばあちゃんの家,イベントなど

中学生…家族と外出

高校生(もしくは同等年齢)…バイト寮の自室,様々なイベント



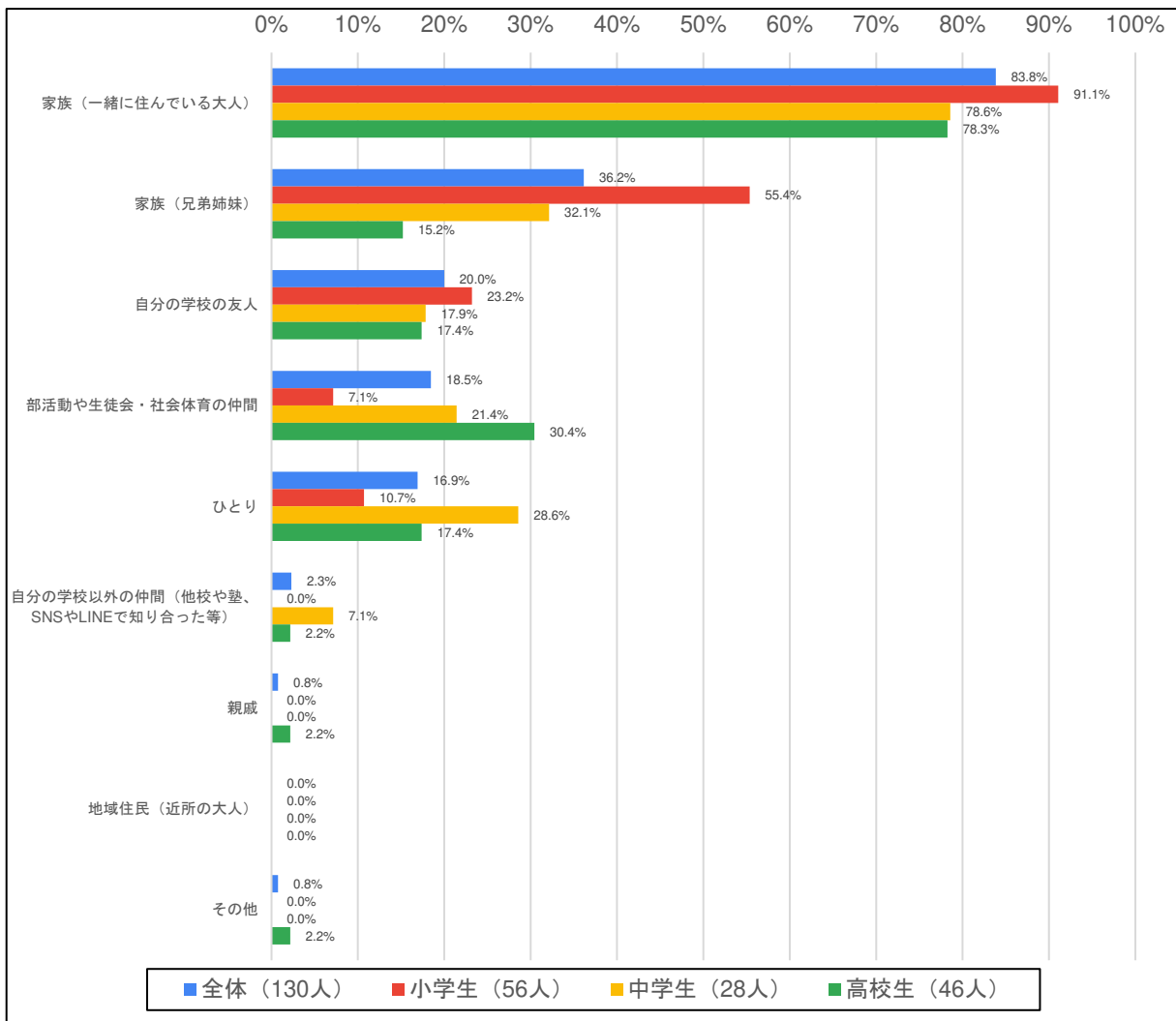
問8. 学校が休みの日(土曜日、日曜日、祝日)は、誰と過ごすことが多いですか？(2つまで回答)

全体では、「家族(一緒に住んでいる大人)」が 83.8%と最も高く、いずれの年代においても一位にあります。

小学生は、「家族(一緒に住んでいる大人)」が 91.1%、次いで、「家族(兄弟姉妹)」が 55.4%と、家族と過ごすことが多く、次いで「自分の学校の友人」との回答は、23.2%でした。

中学生は「家族(一緒に住んでいる大人)」(78.6%)に次いで、「家族(兄弟姉妹)」が 32.1%と高くなっています。その他、「ひとり」と回答した人も 28.6%おり、他の年代に比較して高い結果となりました。

高校生(もしくは同等年齢)では、「家族(一緒に住んでいる大人)」(78.3%)に次いで、「部活動や生徒会・社会体育の仲間」が 30.4%と高くなっていることに特徴があります。



【その他の記述内容】

高校生(もしくは同等年齢)・・・一緒に活動する大人たち

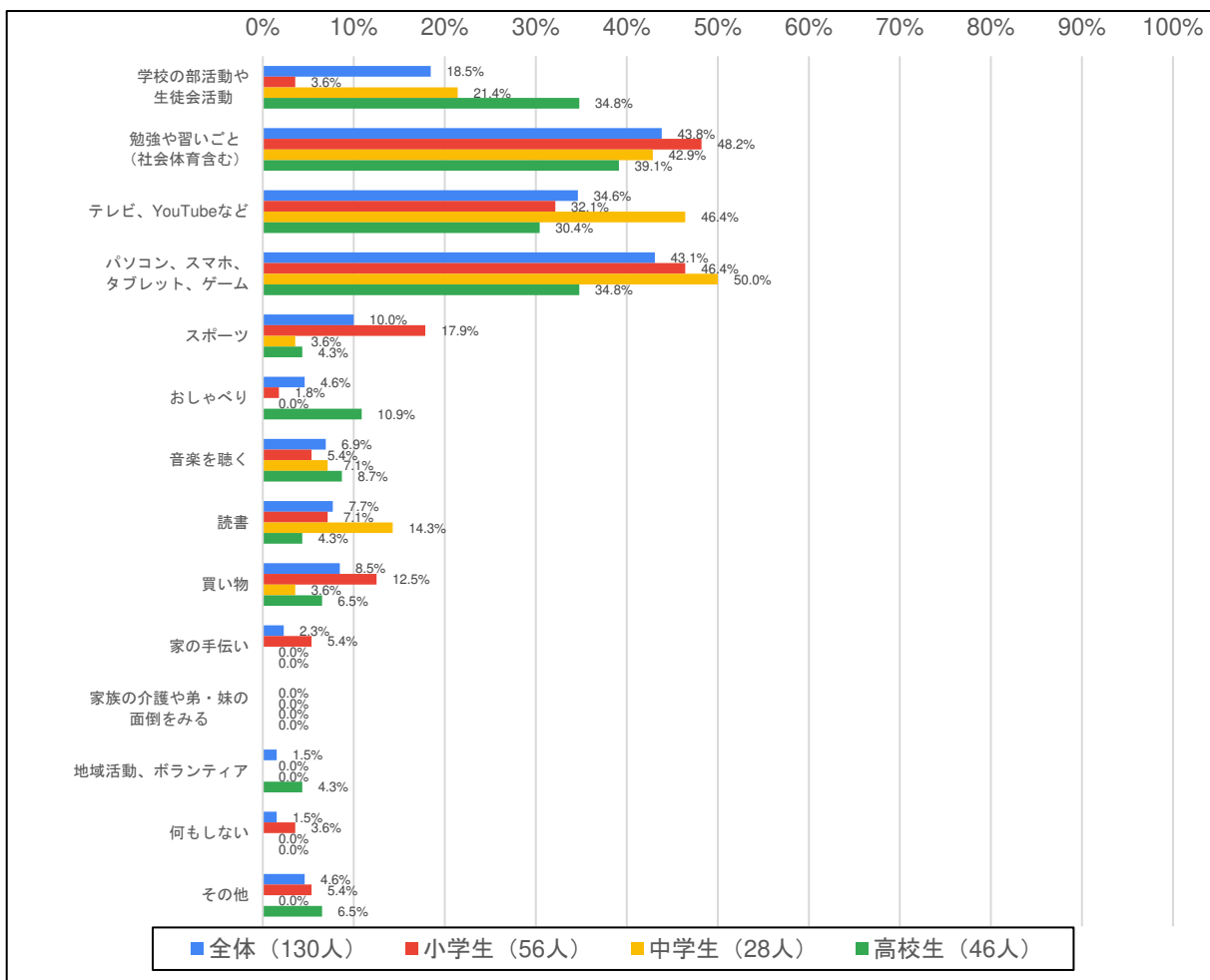
問9. 学校が休みの日(土曜日、日曜日、祝日)は、何をして過ごすことが多いですか？(2つまで回答)

全体では、「勉強や習いごと(社会体育含む)」(43.8%)、「パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム」(43.1%)、「テレビ、YouTube など」(34.6%)をして休日を過ごす子どもが多いことがわかりました。

小学生で、最も多い回答は「勉強や習いごと(社会体育含む)」が48.2%、次いで、「パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム」が46.4%でした。他に、「スポーツ」と回答した人が17.9%おり、部活に所属していなくとも自主的に身体を動かしていることがわかりました。

中学生では、「パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム」(50.0%)、「テレビ、YouTube など」(46.4%)、「勉強や習いごと」(42.9%)という回答が多かったです。また、「読書」と回答した人が14.3%いたことも特徴といえます。

高校生(もしくは同等年齢)では、「勉強や習いごと(社会体育含む)」が39.1%と最も高く、次いで、「学校の部活動や生徒会活動」と「パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム」が同率34.8%となりました。また、「おしゃべり」という回答(10.9%)が、他の年代と比較して高いのも特徴です。



【その他の記述内容】

小学生・・・様々な体験活動,ランニング,イベントなど家族と出かける  
高校生(もしくは同等年齢)・・・アルバイト

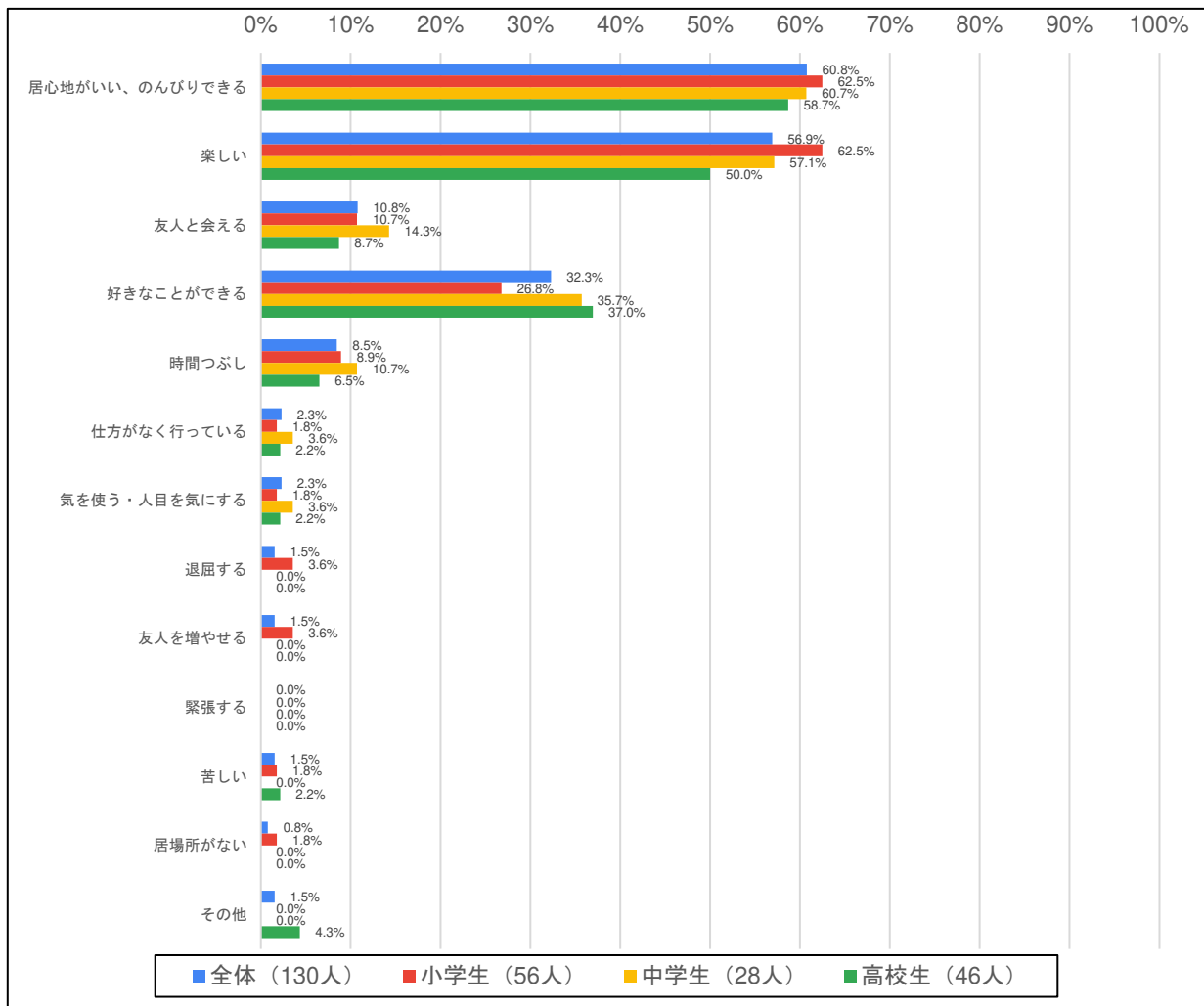
問10. 「学校が休みの日(土曜日、日曜日、祝日)は、どこで過ごすことが多いですか？」で答えた場所にいる時、どんな風に感じていますか？(2つまで回答)

全体では、いずれの年代も凡そ6割(60.8%)の人が学校が休みの日の気分を「居心地がいい、のんびりできる」と回答しています。他にも、「楽しい」、「好きなことができる」、「友人と会える」という回答が多かった一方で、「時間つぶし」という回答も一定の割合(8.5%)でありました。

小学生では、多い順に「居心地がいい、のんびりできる」「楽しい」(同率 62.5%)、「好きなことができる」(26.8%)という回答結果となりました。

中学生では、「居心地がいい、のんびりできる」(60.7%)、「楽しい」(57.1%)、「好きなことができる」(35.7%)の項目に多くの回答がありました。

高校生では、「居心地がいい、のんびりできる」(58.7%)、「楽しい」(57.1%)、「好きなことができる」(37.0%)の項目に多くの回答がありました。中高生は、より自由な休日の過ごし方を実感していると考えられます。



【その他の記述内容】

高校生(もしくは同等年齢)・・・平日と同じく何も考えずゲーム勉強ができる

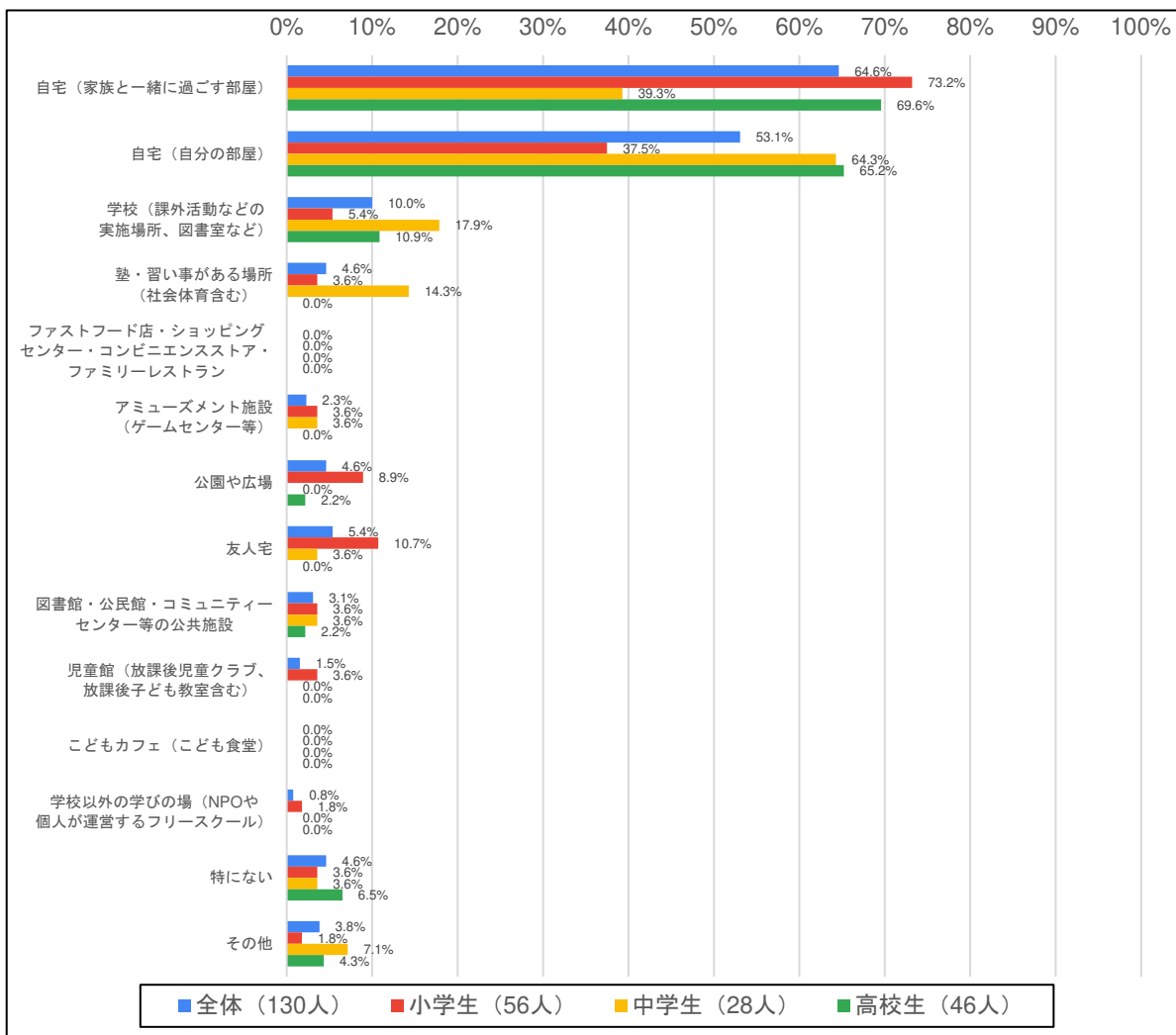
問11. ほっとする場所はどこですか？(2つまで回答)

全体として、圧倒的に自宅がほっとする場所になっていること(自宅〔家族と一緒に過ごす部屋 64.6%、自分の部屋 53.1%])がわかります。ほっとする場所は「特にない」(4.6%)という回答もありました。

小学生の多数回答として、「自宅(家族と一緒に過ごす部屋)」が73.2%、「自宅(自分の部屋)」が37.5%でした。また、「友人宅」は10.7%、「公園や広場」は8.9%と一定数の回答があります。

中学生は「家族と一緒に過ごす」(39.9%)より、「自分の部屋」(64.3%)をほっとする場所であると回答する人が多い結果となりました。ほかに、「学校(課外活動などの実施場所、図書室など)」が17.9%、「塾・習い事がある場所(社会体育含む)」が他の年代と比較して高い14.3%の回答があります。

高校生においては「自宅(家族と一緒に過ごす部屋)」(69.6%)、「自宅(自分の部屋)」(65.2%)をほっとする場所と回答する割合が高くなっています。



【その他の記述内容】

高校生 (もしくは同等年齢)・・・イベント,寮の自室

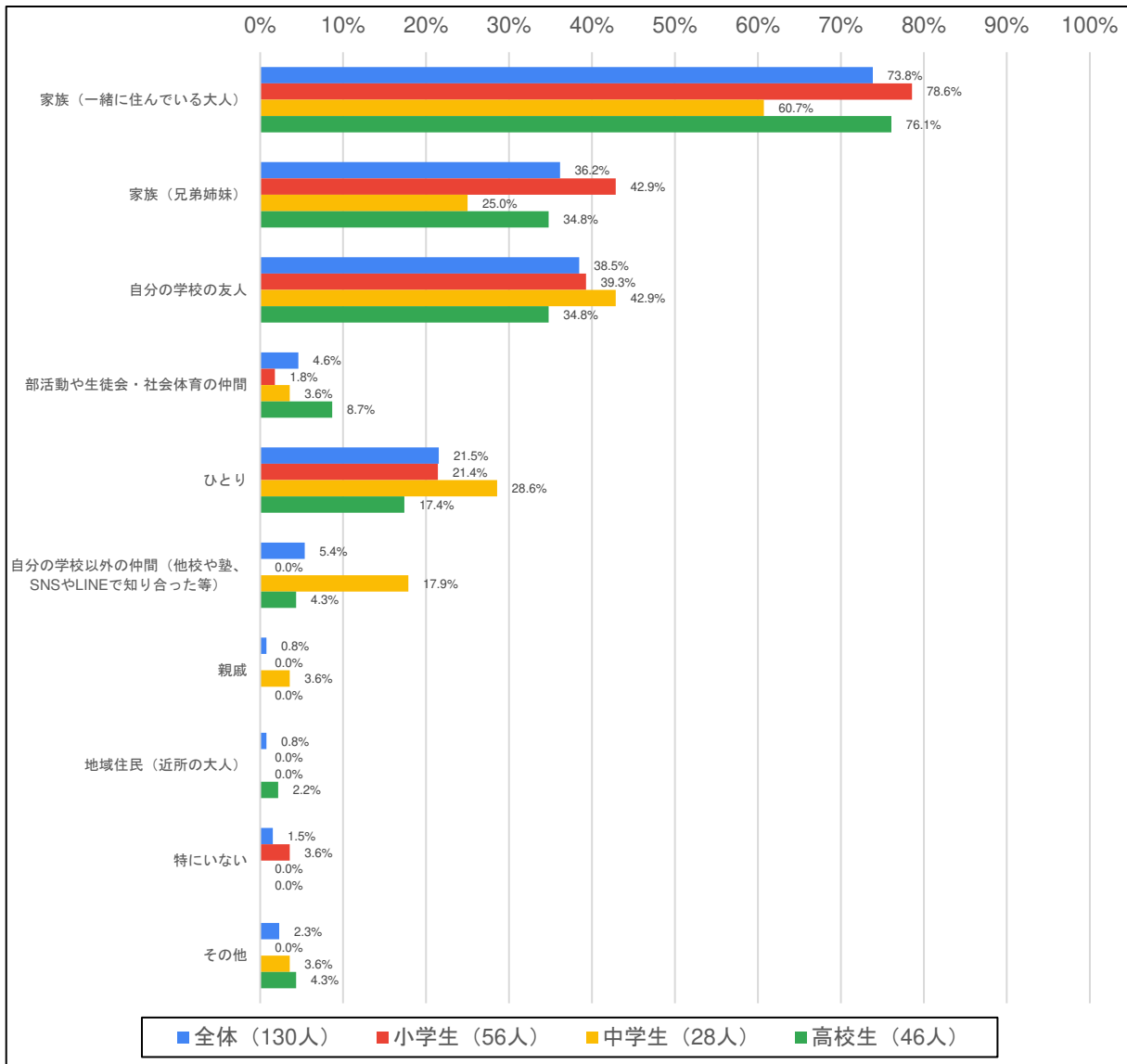
問12. 一緒にいてほっとする人は誰ですか？(2つまで回答)

全体では、一緒にいてほっとする人は「家族(一緒に住んでいる大人)」であるという回答が、どの年代においても最も高い結果となりました。

小学生では、「家族(兄弟姉妹)」が42.9%と2番目に高くなっています。

中学生では、「自分の学校の友人」(42.9%)、「ひとり」(28.6%)、「家族(兄弟姉妹)」(25.0%)という回答が順に高い割合を占めました。また、「自分の学校以外の仲間」に17.9%の中学生がほっとすると回答しており、この傾向は年代比較的に高い割合でみられました。

高校生(もしくは同等年齢)では、「家族(一緒に住んでいる大人)」(76.1%)に次いで、「家族(兄弟姉妹)」と「自分の学校の友人」が同率34.8%と多くの方が回答しています。



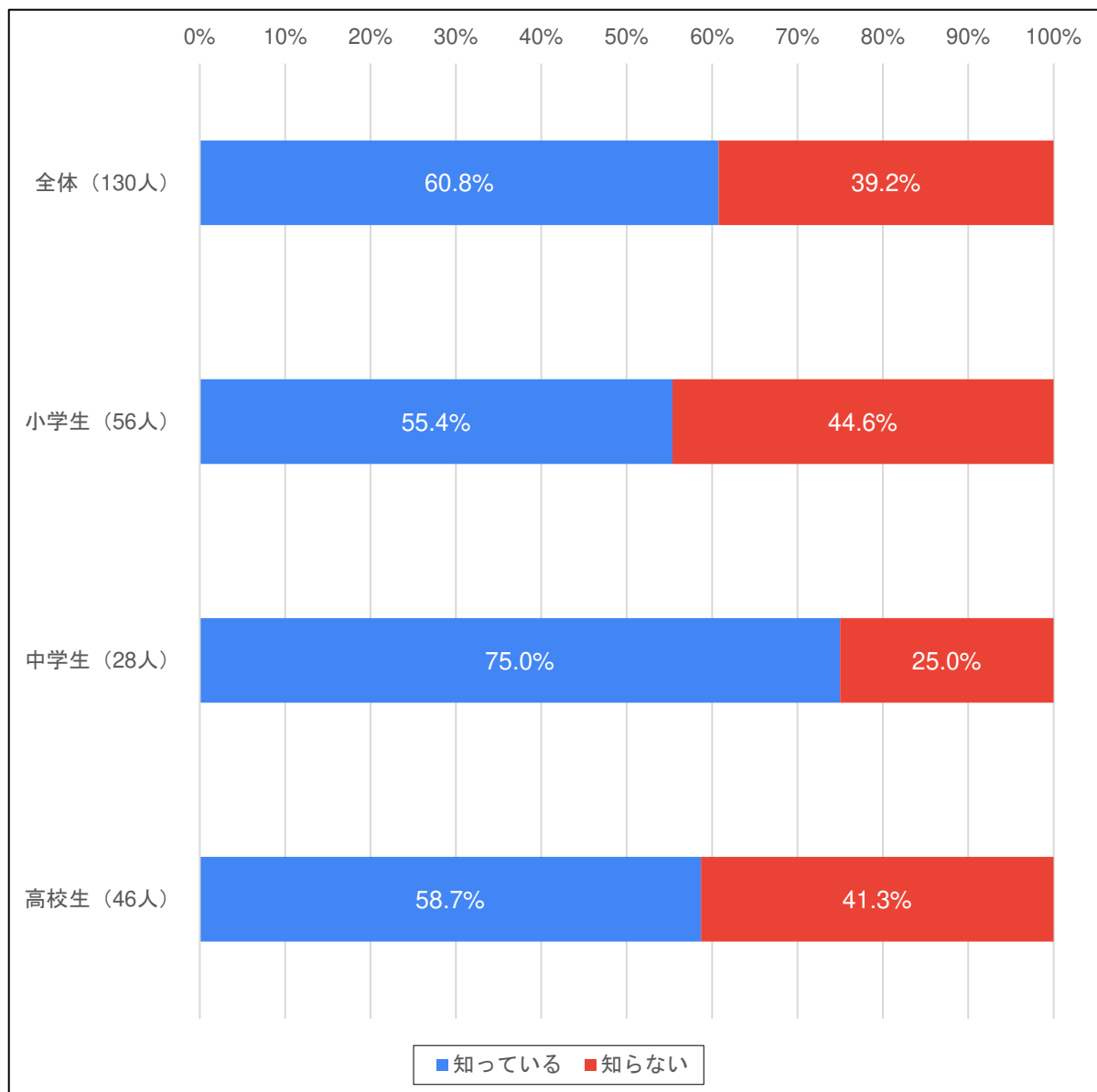
【その他の記述内容】

中学生・・・塾講師

高校生(もしくは同等年齢)・・・一緒に活動する仲間,母のみ

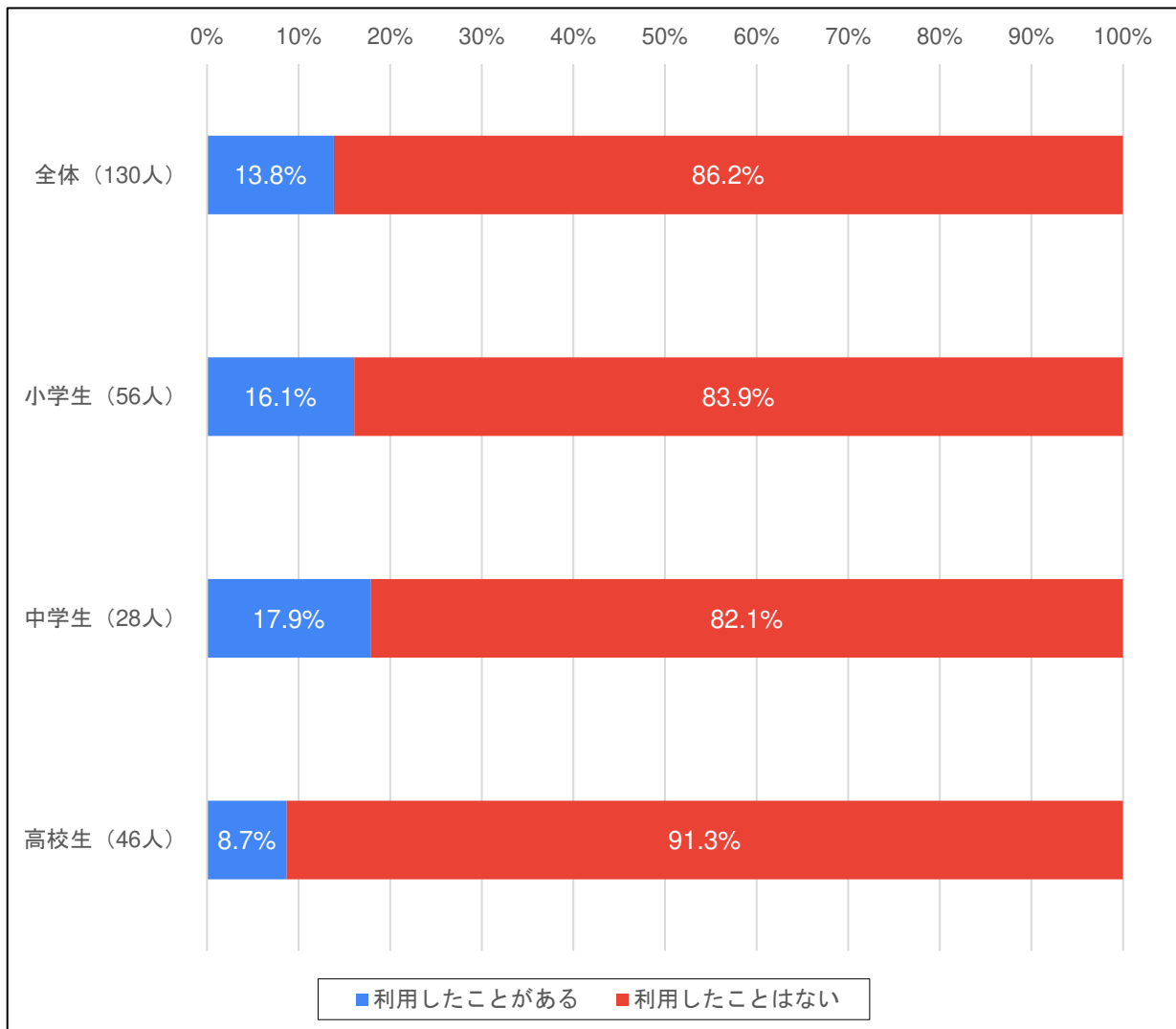
問13. こどもカフェ(こども食堂)を知っていますか？

全体では、こどもカフェについて「知っている」という回答が 60.8%、「知らない」という回答が 39.2% あり、「知っている」子どもが多い結果です。中学生のこどもカフェ認知度(75.0%)は比較的に高く、小学生と高校生の5割以上がこれを知っていると回答しています。



問14. こどもカフェ(こども食堂)を利用したことがありますか？

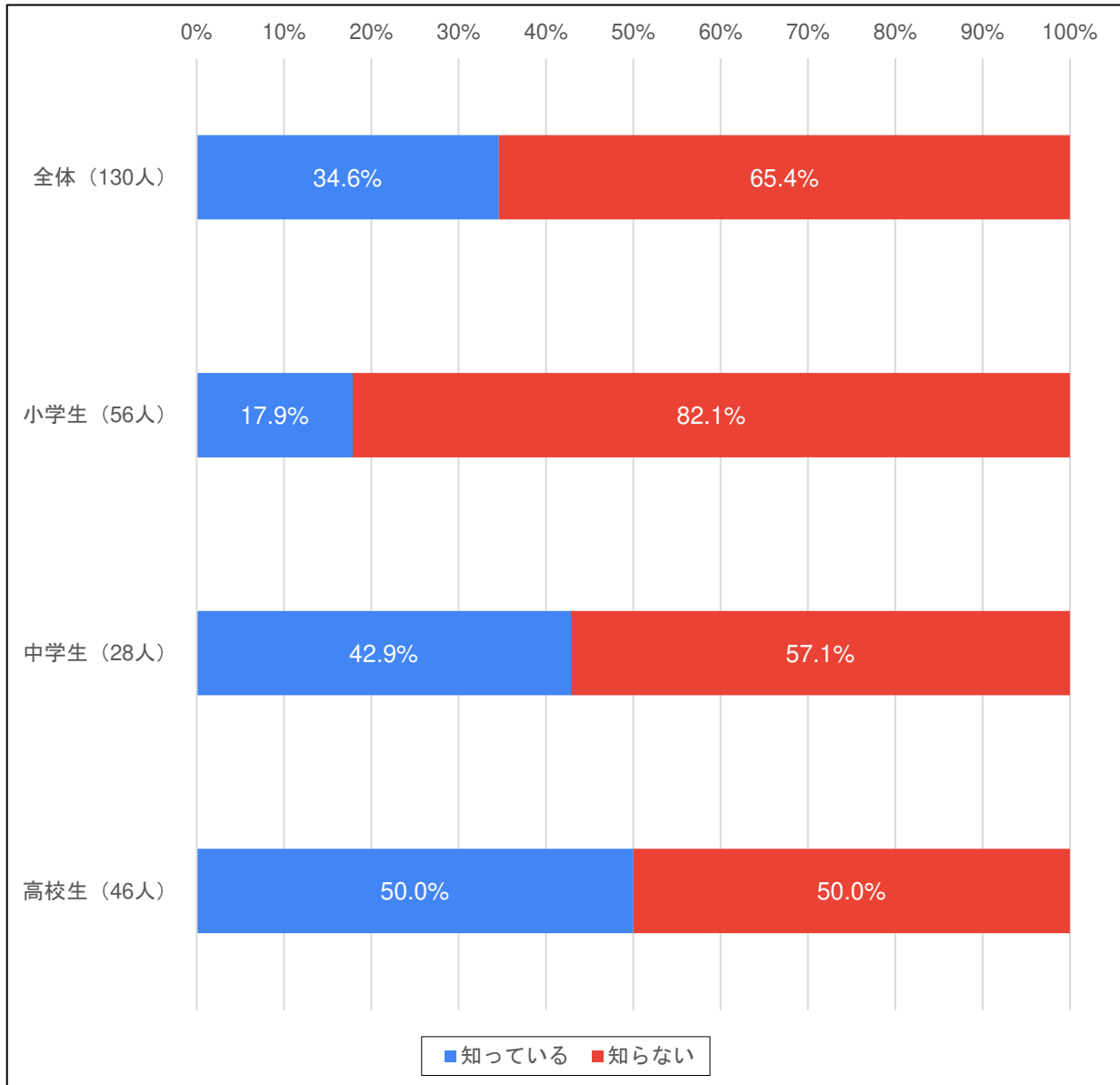
全体として、こどもカフェを利用したことがある人は 13.8%、利用したことがない人が 86.2%いました。全体的に、こどもカフェを利用した経験は少ないことがわかりました。小学生の 16.1%、中学生の 17.9%、高校生の 8.7%の人が「利用したことがある」と回答しています。高校生のこどもカフェ利用経験率が、比較的に少ない結果となっています。





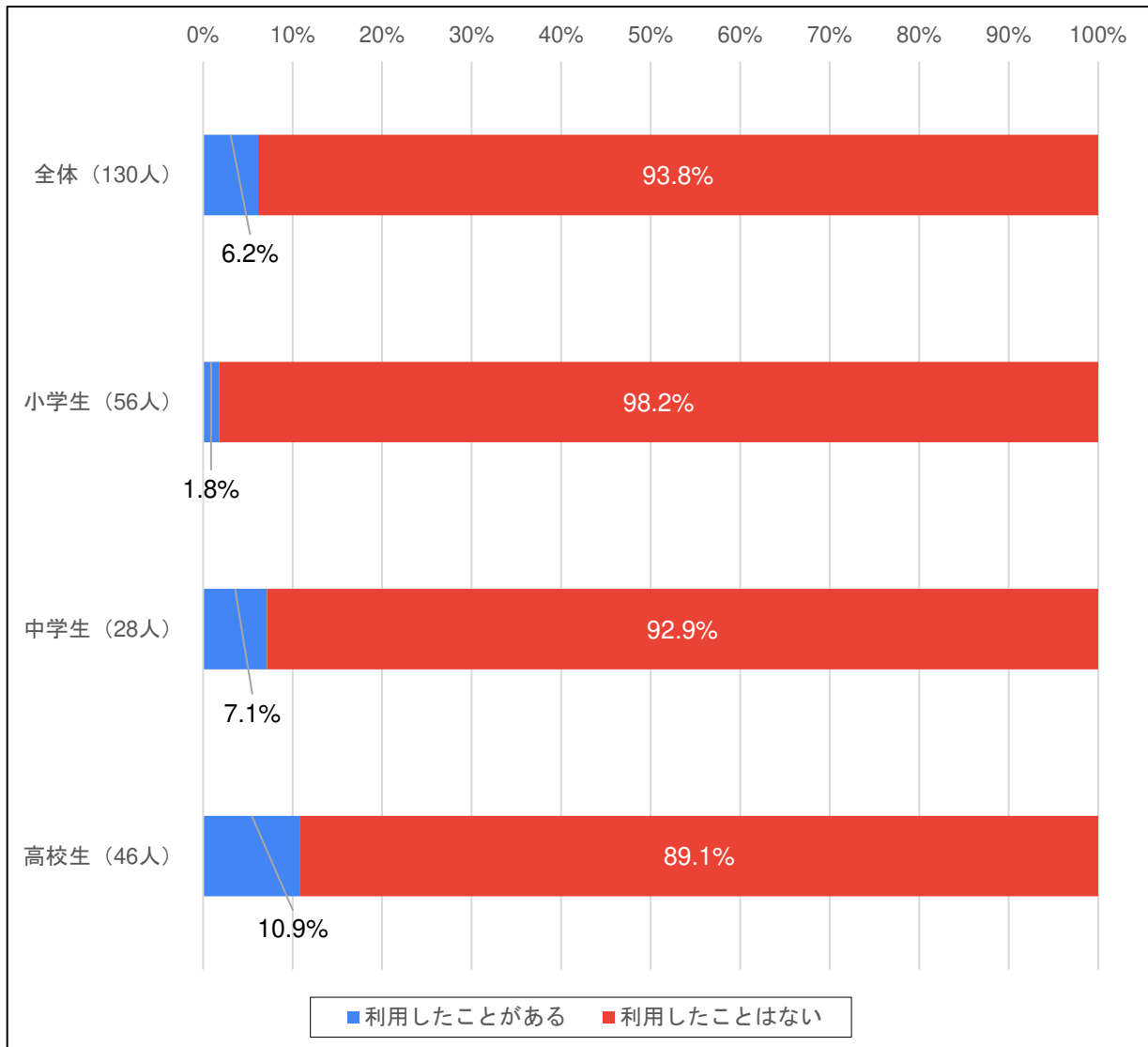
問15. フリースクールを知っていますか？

全体では、フリースクールを「知っている」と回答したのが 34.6%、「知らない」と回答したのが 65.4%という割合です。小学生の認知度は 17.9%と一番低く、中学生(42.9%)、高校生(50.0%)と年代が上がるごとに認知度は高くなっています。



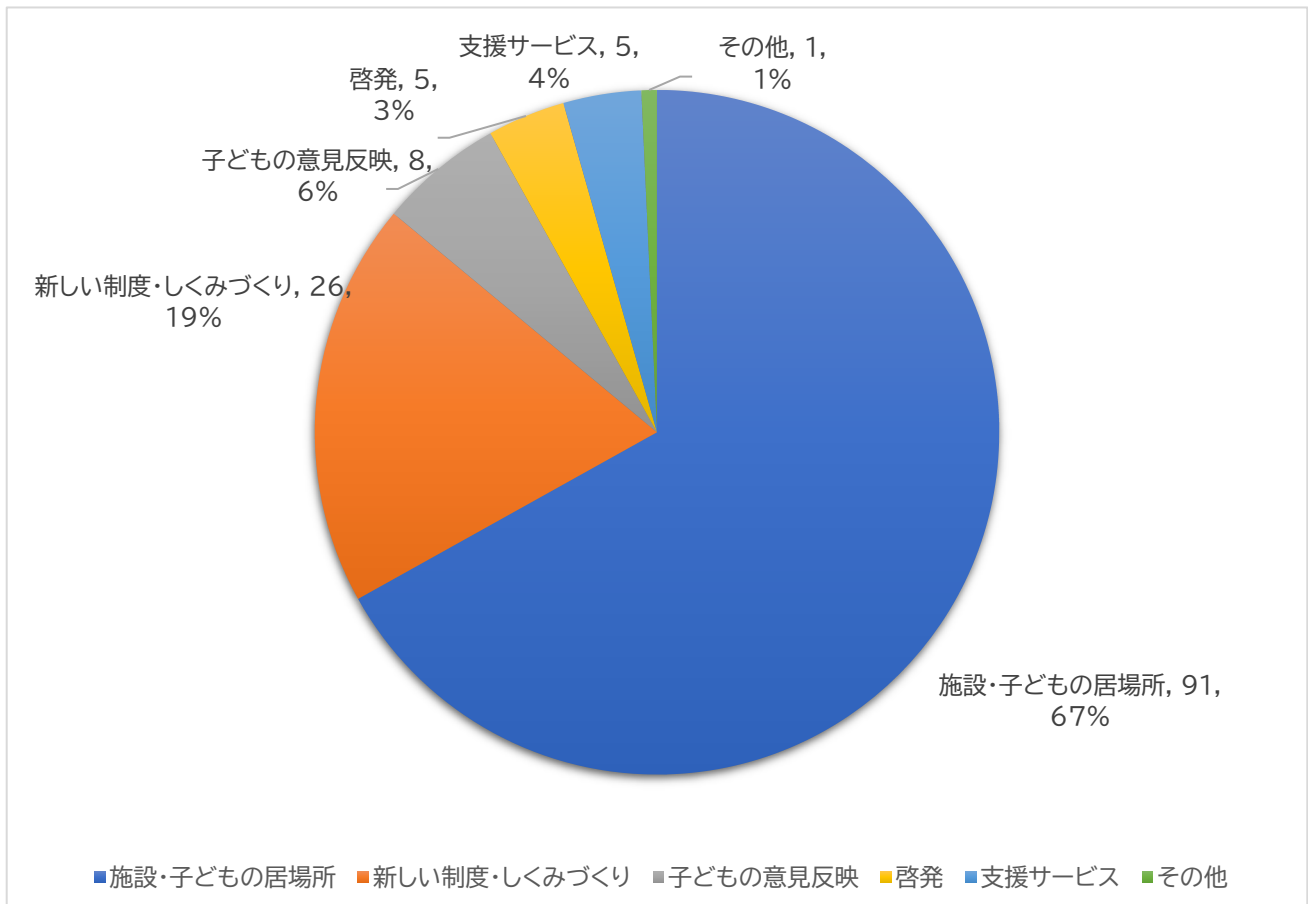
問16. フリースクールを利用したことがありますか？

いずれの年代においても利用経験は少ないことがわかりました。小学生では1.8%、中学生では7.1%、高校生では10.9%の人が、フリースクールを利用したことがあると答えています。年代が上がるごとに利用したことがある人が増えています。



問17. もしもあなたが県知事だったら、こどもが笑顔で過ごせる居場所をつくるために何をしますか？(自由記述)

全体の67%が、「施設・子どもの居場所の充実」と回答しています。次に「新しい制度・しくみづくり」の提案も19%ありました。



分類	年代	回答
(6) 施設 一件	小学生	子供食堂よりも学校の教室を開放して、ワンコインでお弁当を買えたり、過ごせる場所を全学校に作る
	小学生	公園を作る
	小学生	子供カフェやフリースクールの場所を増やす
	小学生	子供の人権を守りながら、ホッと一息つける場所をつくりたい。
	小学生	みんなの笑顔溢れる公園を作る
	小学生	笑顔溢れる公園を作りたい
	小学生	笑顔溢れる公園を作る
	小学生	皆んなの顔を笑顔😊にする勇気が欲しいです。
	小学生	子供が楽しめる遊び場をいっぱい作る
	小学生	学校以外でみんなが遊べるような場所をつくる
	小学生	遊ぶ場所や、図書館を作る
	小学生	誰も一人でできないようにできる場所などを作る。 もし、一人で居たい人がいたら落ち着ける場所や図書館などを多く作ってあげる。
	小学生	遊び場を充実させる
	小学生	遊園地を作る
	小学生	各地区に、子供達が人間と触れ合える施設を作りたい。
	小学生	それぞれの好きなことを持ち寄って気が合う人と一緒に遊べる場所をつくる。
	小学生	公園やプールをたくさん作る。
	小学生	いろいろなことができる(図書館とか、遊べる場所がある)建物や公園をたくさん作る
	小学生	友達に会えて、自由にたくさんの体験ができて楽な気持ちで過ごせる居場所を作りたい。
	小学生	市役所などで子どもが集まれる場所を作る
	小学生	同じような問題を抱えている子供同士話し合う時間と場所を作る。 他の学校の子供達とみんなでレクをして楽しむ場所を作る。
	小学生	楽しめる公共施設をつくる
	小学生	家で1人の子を預かる施設を開設する
	小学生	公園を作る 広い広場、楽しい遊具
	小学生	児童館に体を動かせて、友達と対決できるものを作る。
	小学生	子供のお小遣いでも入れる遊園地を作る
	小学生	学童クラブのスペースを大きくしたり、もっと快適にす?
	小学生	でかい遊園地
	小学生	ちょっとした、無料カフェを作る
	小学生	私自身、学校で仲良い子以外と話すのが苦手だし、なるべく1人居たいから1人でいられて、好きな事が出来て、静かで落ち着ける居場所が欲しいと思う。
	小学生	田舎でも公園や広い広場を作る
	小学生	遊べる場所を作る。
	小学生	こどもだけで集まれる場所
	小学生	公園を増やす
	小学生	交流のできる、誰でも入れる施設を作る。
	小学生	不登校の子が、気軽に行ける場をもっとつくりたい。
小学生	学校にエレベーターを付ける	
小学生	思い切りボール遊びができる場所をつくりたい	
小学生	学校の近くに無料で楽しめるプールを作る。	
小学生	居心地良く過ごせる場所を増やす	

(91件) 施設	小学生	子供たちが楽しめる様な場所を作る
	中学生	僕が県知事だったら、子どもが笑顔で過ごせる居場所をつくるために、まず最初に、子どもに直接意見を求めたり、集まってもらってワークショップのようなことをします。
	中学生	屋内運動施設を作る(雨の日でも予約なしに気楽に運動できる場所)
	中学生	子育て支援センターのような施設を増やす
	中学生	楽しいことができる自由な場所。
	中学生	漫画図書館
	中学生	居場所を作る
	中学生	こどもがすごしやすい場所を作る
	中学生	誰でも来ることが出来て、それをみんなが知っているところ。基本的に自分の好きなことをしていいけど悪いことをしたら、しっかりダメだと言ってくれる大人がいること。
	中学生	好きなことが伸び伸びとできる環境づくり
	中学生	子供がもっと自由に遊べる場所を作る。
	中学生	まずみんなが行きやすいところに作りみんなが遊べて勉強できるスペースを提供する
	中学生	公共の勉強施設を作る(みんなで過ごせる共通スペースや個人単位で集まったるできる個室のような小空間)
	中学生	触れ合える、みんなで遊ぶ時間を作る 体育館開放など
	中学生	カフェ(部屋がたくさんある)をつくる
	中学生	学童保育等の施設を建てたいですね
	中学生	好きなことができる学校の延長線上のような施設をつくる。 その施設に何か事情があって行くことができない子供も少しでも安心できるようにオンラインで自由に繋がれるフリースペースを作ってみる。
	中学生	雨の日でも遊べるように、室内に遊園地を作る。 学校に子ども食堂などのチラシを配ってたくさんの人に知ってもらう。 24時間いつでも利用できる施設を作る。
	中学生	子ども食堂を増やす
	高校生(もしくは同等年齢)	高校生でも入れて健康的な食事を安く提供してくれるお店をつくる。
	高校生(もしくは同等年齢)	遊園地やショッピングモールなど、遊べる場所を作る
	高校生(もしくは同等年齢)	遊園地やショッピングモールなど、遊べる場所を作る
	高校生(もしくは同等年齢)	誰でも使えるフリースペースを作る
	高校生(もしくは同等年齢)	子供が行きやすい公共施設をつくる
	高校生(もしくは同等年齢)	こどもの居場所を、できるだけ多くの場所につくります。長野市、松本市など人口の多い場所だけでなく、村や町にもつくって、住んでいる場所や環境に左右されないようにしたいです。その上で、沢山のひとと話ができる場所にしていきたいと思います。人と話をすることで、視野が広がって自分を成長させることができます。
	高校生(もしくは同等年齢)	制約のない(大人の監視がない・法律の範囲内で何をするのも自由な)居場所を作る。
	高校生(もしくは同等年齢)	自由に出入りできる図書館的な施設
	高校生(もしくは同等年齢)	無料で利用できる自習室やバドミントンができる体育館
	高校生(もしくは同等年齢)	学校の施設を充実させる
	高校生(もしくは同等年齢)	子供食堂を作ったり、皆が子供食堂の場所をわかるようにして、食事の時に一人の子を減らすようにする
高校生(もしくは同等年齢)	子ども食堂など、子どもの居場所を作ろうとしている個人や団体、組織などに、お金など様々な面から支援する制度を作り、そうした活動がしやすいようにする。	

(91件) 施設	高校生(もしくは同等年齢)	運動できるような楽しいアクティビティー施設を設ける
	高校生(もしくは同等年齢)	誰が来ても安心できる場所を考える
	高校生(もしくは同等年齢)	放課後ふらっとセンター(仮称)の設置:登校したけどやっぱ嫌だな…とか、今日の学校は1日中嫌な気持ちになった、なんか疲れちゃったけど、家に帰るのもまだいいかな…などと思った児童・生徒・学生が『ふらっと』立ち寄ることができる場所を設けます。 カウンセラーに相談する気分でもないし、特別誰かと話したくもないけど、でもちょっと休憩したいな。そんな想いに応えられたらと思います。
	高校生(もしくは同等年齢)	年齢関係なく、誰かと会いたいと思っている人が集まれるような施設を設置する。
	高校生(もしくは同等年齢)	子どもの居場所を作るのには、個人の力では難しいことも多いと思うため、協賛してくれる企業や団体を募る。そして、場所としては使われていない古民家などを利用することで、空き家問題解消にもつながると考える。
	高校生(もしくは同等年齢)	24時間使える施設をつくる
	高校生(もしくは同等年齢)	子供が楽しいと感じる施設を作る
	高校生(もしくは同等年齢)	楽しめる場所を作る
	高校生(もしくは同等年齢)	きれいな公園を作る 自習室を増やす
	高校生(もしくは同等年齢)	えんぱーくのような、自由に作業ができる場所を増やす
	高校生(もしくは同等年齢)	無料の朝ごはんを食べられるカフェを作る。 体育館の開放
	高校生(もしくは同等年齢)	電車など、公共交通機関で行けるような場所に、一面芝生(?)の寝っ転がれるような場所を作る。それは、外に出て外の空気を吸いたいけど、人が多い場所は苦手という学生が気分転換できるようにするため。
	高校生(もしくは同等年齢)	すわっちゃおみみたいな場所を増やす
	高校生(もしくは同等年齢)	自習室を増やす
	高校生(もしくは同等年齢)	何かで苦しんでいる子のために遊べたり1人になれる施設を作りたいです。
	高校生(もしくは同等年齢)	博物館や美術館の中に学習スペースや小さな図書館、DVDを見られる場所を作り、静かな場所でゆっくり勉強や学習ができる場所を用意して、そのスペースを利用する子どもは博文館、美術館の展示物を自由に見て回れるようにしたいです。
	高校生(もしくは同等年齢)	まず、学校に通うことだけが正しい選択肢では無いことを子どもたちに伝えたいです。学校以外の子どもたちが守られている居場所づくりがすすめられていることを子どもたちに周知します。 居場所作りにおいては、子どもたちの意見を積極的に取り入れます。アンケートなどで意見を収集するだけではなく実際に多くの子どもたちと会い、会話の中で生まれる言葉を大事にします。その中で出た意見や考えを基に居場所づくりをすすめたいです。
	高校生(もしくは同等年齢)	フリースクールや子ども食堂をもっと大規模に実施する。宣伝に力を入れる。
	高校生(もしくは同等年齢)	子供たちがしたいことをなるべくさせてあげられるような居場所をつくりたいと思います
	高校生(もしくは同等年齢)	自由に出入りができ、勉強を教え合ったりできる場を設置する
(26件) 新しい制度・しくみづくり	小学生	学校へは、無理して行かなくてもいいようにする。
	小学生	学校がいやな子達は家でオンラインで授業を受けるなど
	小学生	犯罪のない町づくり
	小学生	休みを増やす
	小学生	こども市長を作る
	小学生	税金を子供のために使う。 学校をもっと便利にする。 いじめを失くす。

(26件)

新しい制度・仕組みづくり

小学生	みんなで協力し合い楽しい街にする。
小学生	子供がいつでも無料で悩みを話せる相談所を作る
中学生	教育に力を入れる
中学生	週に一回学校で1クラス全員と担任で話し合いをする時間を作る。 (理由)1人対スクールカウンセラーとの話し合いの時間はあるがスクールカウンセラーに相談するのは、少し意見を言いづらいから、(自分も)仲間にも共感してもらえることで、この意見を持っていたのは自分だけじゃないんだと自信を持てると思ったから。
中学生	学校に行くのが不安な人でも安心して行けるように行きたい時に行けるような予備の学校を作る 老人ホームなど、学校の帰りにお年寄りと交流できるようにする
中学生	・図書館(塩尻市のえんぱーくみたいな)立地条件がよく、車で行きやすく駐車場が広い。 ・大人から子供までワンコイン利用しやすいで運動できる施設、クラブ。あんまりスポーツを教えてくれるところがないから。 ・コンクールの充実化
中学生	居場所支援・こども食堂の支援費の拡充。 県独自で、各地の飲食店と提携し、キッチンカー等を貸出し、週末に地方を周り、初めてみる食べ物との出会いを大切に活動。 (長野県内には、海外の料理を提供している店もあるため。)
中学生	・公共のフリースペースをつくる。(多数の人と勉強ができるところやおしゃべりができる場所、本が借りられて静かに読める場所、また少人数と同じように勉強やおしゃべり、読書ができる個室 など) ・AIを使って学校やその他公共機関でいじめが発生しそうな環境を予測する機構をつくる。 ・地域の人々に呼びかけたり、公務員の人たちで街中で挨拶が活発化するように挨拶運動をする。
中学生	どこに子供が過ごせる場所があるかわかるマップや予約、チャット機能が付いたアプリの開発
中学生	学校の制服をなくすなどして、性別に関わらない自由な服装ができるようにする。
高校生(もしくは同等年齢)	学校への登校を選択式にして学校へ行くか勉強ができるフリースクールなどの場所へ行くか生徒に学期ごとに選べるようにする
高校生(もしくは同等年齢)	様々な人の意見を聴き、専門家などと一緒に迅速で適切な行動をしたい。
高校生(もしくは同等年齢)	今、居心地がよさすぎると、おとなになりたくないと思ってしまうので、大きくなるにつれ守られていくような仕組みを考えます。
高校生(もしくは同等年齢)	休み方改革を行い、保護者と子供の時間を増やす。ラーケーションの日を導入する。
高校生(もしくは同等年齢)	相談のしやすい環境を作る
高校生(もしくは同等年齢)	小中学校又は高校でメンタルタフネスの授業を数ヶ月に一度実施する。“有名アスリートはどうやって良好な精神を保っているのか?”や“精神の健康とは何か?”などについて学び、グループトークする。大きな悩みを抱えていない子供でも、例えば緊張した時に自分の精神をより安定させるスキルは、彼らの学生生活または将来でとても大切なものになると思う。また、自分で精神的健康が保てないときは人に頼ったり辛い事から離れたりするのスキルの内の一つであるという事を教えてあげてほしい。私は高校2年生だが、もっと早くからそれらを知っていれば、自分のスキルアップにも繋がったのではないかと思っている。メンタルタフネスの知識は心を「快」の方向に向かわせてくれる。いかに予測できない目の前のイベントを成功させるか、は心理状態

(26件) 新しい制度・しくみづくり		と深く関係しています。緊張や精神的苦痛が緩和されれば、自分の本来の力を発揮することが出来るのです。
	高校生(もしくは同等年齢)	小中学校の合併など、同年代とのコミュニケーションの場を増やす。
	高校生(もしくは同等年齢)	税金を利用して、いつでも通うことができ、何をしても良い場所(公立の無料託児施設兼子供プラザ兼フリースクール)を作り、誰でも利用できるようにする。子供プラザやフリースクールでは、結局学校と同じで、友達が欲しいのに友達ができなくて悩んだり、独りぼっちで寂しい思いをしたりする子もいるので、保育士の資格を持っていたり、フリースクールなどでの労働経験があるスタッフを雇用したり、利用する人と年齢の近い若いスタッフや、中高生のボランティアもスタッフとして受け入れて、私立のフリースクールとはまた少し違う、みんなの仲が特別良くもなく(既にコミュニティが出来上がっていると、新しく来る子やたまに来る子が遊びにくいから)、悪くもなく、スタッフとも友達になれて、みんなで遊ぶことも可能で、1人で過ごすことも可能な「居場所」の提供を行う。
高校生(もしくは同等年齢)	こども食堂やフリースクールといった、短期的で問題解決にならない支援に国民から集める税金を浪費するのではなく、乳幼児期から親子の関係形成や発達支援が必要な家庭、子供に対し長期的、積極的な支援を行う施設、教員の育成等を行う。	
(8件) 子どもの意見反映	小学生	子供の意見をたくさん聞く
	小学生	みんなに聞く
	小学生	アンケートをとる。いろいろな人の意見を聞く。大人だけじゃなくて子供の意見も聞く。
	小学生	色々な学校を回って児童たちに、どんなことで笑顔になれるか聞いて実現させたい
	中学生	意見を聞く
	高校生(もしくは同等年齢)	子供の声を聞く
	高校生(もしくは同等年齢)	通信制高校もフリースクールも含め定期的に生徒に学校に対するアンケートを匿名でとる。その結果を学校に伝える。先生たちに悩みや不満を直接言いつらい人もいるから。
	高校生(もしくは同等年齢)	まずは学生の意見を聞く
(5件) 啓発	小学生	不登校について理解してもらう。
	小学生	子供達が望むことができる。 悪いことをしたら怒るけど子供が嫌になる怒り方をしない。などと子供を尊重し、大切に作る方針ですごせる施設みたいなのを用意する
	中学生	子供だったときのことを少しでも思い出して様々な人がいることを考えて、少しでも寄り添う。
	高校生(もしくは同等年齢)	いじめをなくそうとする
	高校生(もしくは同等年齢)	子供が過ごせる居場所があることをポスターなどで示し、学校や駅などに掲示する。私はフリースクールについては名前は知っているけれどどのようなものかは知らないの、もっと知ってもらおうことが大切だと思った。
(5件) 支援・サービス	小学生	欲しいものを聞いてそれを揃える
	小学生	ひとりひとり性格や感じ方が違うから、ひとりひとりの夢や希望に投資する
	小学生	金あげる
	小学生	子どもに使えるお金を増やす。川崎にある夢パークみたいな毎日過ごせる場所を作る
	中学生	・今あるこども食堂のような場所で、勉強をしたり教えてもらったりもできるようにしたい。また、数も中学校の学区ごとに1つくらいに増やして、気軽に行くことの出来る場所にする。 ・学校で、生徒一人一人に合った学習などができるようにして、素の自分をさらけ出せる場所にする。



こ 件 ↓	なし	小学生	特にない
-------------	----	-----	------

\*一人の意見の中に、複数のカテゴリーを含む回答があります。

ボリュームが多いため別添します。

新しい制度・仕組みづくり	高校生 もしくは同等年齢	<p>阿部長野県知事様</p> <p>私は〇〇村から〇〇高校に通学し、野球部で毎日白球を追いかけしています。学びの活動で部活動の地域移行を探究しており、その中で考えた事を阿部知事に提案させていただく機会を待っていました。</p> <p>私が知事だったら、中学生の地域スポーツ環境を整えます。特に過疎地域です。中学の部活動で、子供達が興味のあるチームスポーツを諦める事なく、今までの部活動のように気軽に取り組めるように、野球、サッカーなどの団体スポーツが選択できるように目を向けます。阿部知事に提案させていただきたい事があります。</p> <p>①地域移行中のタイミングで、過疎地域では卓球や剣道、テニスといった少人数で成り立つ競技に自治体や学校のサポートが縮小されてきているように感じます。野球など他の地区との合同チームへの参加は各家庭に任せられます。そうなると、時間的経済的に困難な家庭の子供は、部活動の感覚では団体スポーツは取り組みにくくなります。</p> <p>チームスポーツは、運動としてだけでなく成長期の生徒が集団の一員としてコミュニケーションを学ぶ有意義なものです。県内の中学生の時期に行う、チームスポーツが衰退しないよう、地域格差、体験格差が起こらないよう、自治体の環境作りへの補助金や支援をお願いいたします。</p> <p>②また、部活動の地域移行に伴い問題にあがる指導者不足ですが、改善策として、例えば野球なら県民球団信濃グランセローズ選手の引退後のセカンドキャリアとして、サッカー、バスケット、バレーも同様に、地域スポーツ支援員(多地域の高齢者の障害スポーツや健康体操等のサポートなども兼ねて)を一つの職業として就業してもらうよう、長野県としてもっとしっかり給与や体制作りを進め(現在の個人登録、マッチングというやり方より、もっと県として制度をつくり推進する形として)、他県に負けない魅力を作り、差別化し、長野県のチームなら引退後は安心だ！といい選手にもっと長野県に来てもらいたいです。他県からの若者移住にもつながります。</p> <p>以上の、しっかりした仕組み作りを是非ご検討、政策のヒントにさせていただきたいです。子供達がみんなスポーツを行い、体を動かし盛り上がれば笑顔が溢れると思います。</p> <p>阿部知事に是非直接読んでいただき、何らかのご回答ご意見をいただけたら嬉しいです。よろしく願いいたします。 (氏名〇〇)</p>
--------------	--------------	---

### Ⅲ 総括

#### (1) 平日放課後の居場所(問 3)

平日の放課後の過ごし方は、それぞれの年代で 1 位が異なる結果となりました。小学生の最多回答は「自宅(家族と一緒に過ごす部屋)」(71.4%)、中学生は「自宅(自分の部屋)」(53.6%)、高校生(もしくは同等年齢)(もしくは同等年齢)においては、「学校」(60.9%)、「自宅(家族と一緒に過ごす部屋)」(58.7%)と 2 つの項目が高い割合を示しています。

#### (2) 平日放課後を一緒に過ごす人(問 4)

全体では、「家族(一緒に住んでいる大人)」が 59.2%と最も高く、次いで、「自分の学校の友人」が 33.8%、「家族(兄弟姉妹)」が 31.5%となりました。高校生(もしくは同等年齢)(もしくは同等年齢)の回答は「家族(兄弟姉妹)」を除いて分散する傾向がありました。

#### (3) 平日放課後の過ごし方(問 5)

全体では、「勉強や習いごと(社会体育含む)」が 54.6%と最も高く、次いで、「パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム」が 36.2%、「学校の部活動や生徒会活動」が 29.2%となりました。ただし、「学校の部活動や生徒会活動」と回答した多くは中高生です。

#### (4) 平日放課後を過ごす気持ち(問 6)

全体では、「居心地がいい、のんびりできる」が 61.5%と最も高く、次いで、「楽しい」(46.2%)、「好きなことができる」(30.0%)、「友人と会える」(18.5%)と多くの子どもが回答しています。概ねポジティブな気持ちで平日の放課後を過ごしているようです。

#### (5) 学校が休みの日の居場所(問 7)

全体では、「自宅(家族と一緒に過ごす部屋)」が最も高く、いずれの年代においても一位にあります。中学生は「自宅(自分の部屋)」(46.4%)、高校生(もしくは同等年齢)(もしくは同等年齢)は「学校(課外活動などの実施場所、図書室など)」(30.4%)と回答する割合が他の年代よりも高いことが特徴です。

#### (6) 学校が休みの日を一緒に過ごす人(問 8)

全体では、「家族(一緒に住んでいる大人)」が 83.8%と最も高く、いずれの年代においても一位にあります。特徴として、小学生は「家族(兄弟姉妹)」(55.4%)、中学生は「ひとり」(28.6%)、高校生(もしくは同等年齢)(もしくは同等年齢)(もしくは同等年齢)は「部活動や生徒会・社会体育の仲間」(30.4%)といった回答が、それぞれ他の年代と比較して高い割合を示しています。

#### (7) 学校が休みの日の過ごし方(問 9)

全体では、「勉強や習いごと(社会体育含む)」(43.8%)、「パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム」(43.1%)、「テレビ、YouTube など」(34.6%)をして休日を過ごす子どもが多いことがわかりました。インドアで過ごす傾向が強いようです。

#### (8) 学校が休みの日を過ごす気持ち(問 10)

全体では、いずれの年代も凡そ 6 割(60.8%)の人が、学校が休みの日の気分を「居心地がいい、のんびりできる」と回答しています。他にも、「楽しい」、「好きなことができる」、「友人と会える」という回答が多かった一方で、「時間つぶし」という回答も一定の割合(8.5%)でありました。概ねポジティブな気持ちで休日を過ごしているようです。

#### (9) ほっとする場所(問 11)

全体として、圧倒的に自宅がほっとする場所になっていること(自宅〔家族と一緒に過ごす部屋 64.6%、自分の部屋 53.1%])がわかります。一方、ほっとする場所は「特にない」(4.6%)という回答もありました。

**(10) 一緒にいてほっとする人(問 12)**

全体では、一緒にいてほっとする人は「家族(一緒に住んでいる大人)」であるという回答が、どの年代においても最も高い結果となりました。家族以外に「自分の学校の友人」(38.5%)と回答する人が多かった一方、「ひとり」と回答する人も全体の 21.5%いました。

**(11) こどもカフェ(こども食堂)についての認知度(問 13)**

全体では、こどもカフェについて「知っている」という回答が 60.8%、「知らない」という回答が 39.2%あり、「知っている」子どもが多い結果です。とくに、中学生の認知度が高くなっています。

**(12) こどもカフェ(こども食堂)についての利用経験(問 14)**

全体の 86.2%の人が、こどもカフェ(こども食堂)を利用したことがないと回答しました。

**(13) フリースクールについての認知度(問 15)**

全体では、フリースクールを「知っている」と回答したのが 34.6%、「知らない」と回答したのが 65.4%という割合です。年代が上がるほど認知度も高くなっています。

**(14) フリースクールについての利用経験(問 16)**

いずれの年代においても利用経験は少ないことがわかりました。小学生では 1.8%、中学生では 7.1%、高校生(もしくは同等年齢)(もしくは同等年齢)では 10.9%の人が、フリースクールを利用したことがあると答えています。

**(15) 自分が県知事だったら、子どもが笑顔で過ごせる居場所を作るためにすること(問 17)**

全体の 67%が、「施設・子どもの居場所の充実」と回答しています。次に「新しい制度・しくみづくり」の提案も 19%ありました。多くの子どもがハード面の充実について述べています。その他には、新しい制度・しくみづくりや、サービスについての提案がありました。